**長久手市地域協働計画プロトタイピング**

　　　　第二回プレワークショップのレポート

長久手市くらし文化部たつせがある課

令和4年04月発行

　　　５月から始まるプロトタイピングの準備会として、有志の皆様の協力によりプレワークショップを

　　　３月20日に続きプロトタイピングまで実施しました。　楽しく話合い、そして想像もしなかった

アイデアが出ました、今回参加できなかった皆様にも本番に参加いただき｢あなたの智恵をお貸し

ください｣。

  **＜交流会の概要＞**

**・日時、場所　４月2４日(日)13:30～16:30　長久手市まちづくりセンター集会室①**

**・目　的　　　｢プロトタイピングワークショップの成功に向けて、プログラムをデザインする｣**

**・目　的　　　｢地域協働計画策定に必要な要素を抽出する仕掛けを考える｣**

**・参加者**　　　**１３名**(男９名･女４名)<市民 ３､市民団体 ３､学生 2､職員 ３､ｽﾀｯﾌ　２>

　　**・内　容　　　チェックイン⇒発想の転換⇒概要説明⇒デストピアをイメージする⇒ドラえもんのひみつ道具**

**⇒プロトタイピング⇒要素抽出⇒ふりかえり**

　　**・実施したこと**

**独創的なアイデアが生まれる様に**

**頭を柔らかくした**

**・左脳右脳を刺激し感性を高めた**

**お約束**

**・むつかしいと言わず、どうすれば良いか**

　◇アイスブレイク(三人寄れば文殊の知恵) 　◇概要説明･目指すもの

　　　 ・ながくてしのまんなか　　　　　　簡潔でゆったりとしたつながりで、

　　　 ・親子関係　・熊の毛色　　　　　　長久手の小さな課題に取り組み、

　　　 ・二人はいくら持っている　　　　　協働のつぼみを作る



◇デストピアをイメージ　　　　　　　　　◇お題は｢最悪の香流川｣

**モヤモヤを楽しむ場（BA）ができた**



**全員で最悪な香流川を出した**

**･死体がどんどん流れてくる**

**・サリンが漂っている**

**・カップルで行くと分かれる**

**・粗大ごみのゴミ捨て場　など**

３ｸﾞﾙｰﾌﾟで対話

**最悪な状態を考え共有することで**

**好奇心に火がついた様です**

◇デストピアをユートピアに変える道具は？　◇ドラえもんのひみつ道具を考える



**初めてのプロトタイピング体験**

**①独創｢ひみつ道具をイメージし、絵に書く｣**

**➁協創｢共有し､合体､変身させる｣**

**⇒『すぐ呼ベル』**

**『ガンダム型自走掃除ロボット』**



**アイデアを“カタチ”にするプロトタイ**

**ピング(試作)することで､新たなアイデア**

**やコンセプトが生まれた**

　◇地域協働計画に必要な要素を抽出する

**長久手市地域協働計画策定ワークショップ**

**(2021.7～11･･･６回)、市民活動交流会(2022.2)、プロトタイピングプレワークショップ(2022.3-4)**

**に参加くださりありがとうございました。**

**５～９月第三日曜日に､市民主体による長久手市**

**地域協働計画にもご協力ください。**

**主役は誰！(市民･･･在住､在勤､在学､在活)**

**(ニーズ･･･顕在ニーズ､潜在ニーズ)**

**場(BA)の要件(人･環境･しくみ)を考えた**

